

子どもたちもごみ減量に挑戦



ごみを減らそうと努力しているのは、大人たちばかりではありません。福井野小学校では、五年生の児童が頑張っています。授業の一環でごみのことを考える取り組みを行い、子どもたちはそれぞれのテーマで調査や研究をしました。



研究の成果を披露する（左から）清水さん、花井さん、藤原さん

清水小葉さん、花井那菜実さん、藤原菜摘さんの三人は、生ごみの減量に取り組むことにしました。こちらも段ボール箱を利用した方法で、学校の給食の残りをたい肥化しようというものです。清水さんは「初めは段ボールに入れるごみの量が多過ぎ、臭いがしたり

しましたが、加減が分かるようにになりました」と話します。花井さんは、ペットボトルが、どのような経路で、どう再利用されるかなども詳しく調べ、資料としてまとめ上げました。

また、同校では、学校敷地内のごみをみんなで拾い、自分たちで分別してみました。自分の手で分別することによって、ごみや環境に対する意識がさらに高まったようです。きちんと分別され、資源ごみが決められた日に出されれば、誤って焼却されたり、埋め立てられたりせず、有効に再利用されます。正しい分別もごみ減量のポイントです。五年生を受け持つ濱中健先生は「今回の取り組みで、



ごみ問題に取り組んだ濱中先生

みんながごみに関心を持つてくれたようです。ごみや環境の問題について、今後

も普段の生活の中で考えてくれたらいいと思います」と話してくれました。

ごみダイエットメニューとは



札幌市では、昨年十二月、さらなるごみ減量を目指して「さっぽろごみダイエットメニュー」を発表しました。これは、今まで以上に、市民一人ひとりに、自主的

買い物をするときには？

- ・必要なものを必要な量だけ買おう
- ・買い物袋を持参しよう
- ・過剰な包装を断ろう
- ・環境にやさしい買い物しよう(使い捨て商品を使わないなど)
- ・再使用しよう(リサイクルショップやフリーマーケットの利用など)
- ・再使用できる品物を買おう(詰め替え商品など)
- ・再生製品を買おう
- ・リサイクルしやすい品物を買おう

暮らしの中では？

- ・日用品や食材はとことん使い切ろう
- ・衣類などはリフォームして使い回そう
- ・修理・修繕して使おう
- ・いらなくなったら？
- ・生ごみの家庭処理に挑戦してみよう
- ・再使用してもらおう(必要な人に譲るなど)
- ・返却可能なびんなどをお店に返そう
- ・集団資源回収に出そう
- ・正しく分別し、ごみ出しのルールを守ろう

問い合わせ先

●家庭から出るごみの減量やリサイクルに関することは？

札幌市環境局リサイクル推進担当課

中央区北一西二
TEL (211) 2928

●家庭から出るごみの収集のことは？

札幌市環境局業務課

中央区北一西二
TEL (211) 2916

●西清掃事務所
西区発寒十五一十四
TEL (664) 0053

●家庭から出る大型ごみのことは？

大型ごみ収集センター

TEL (281) 8153

●西区内の主な施設は？

発寒清掃工場

西区発寒十五一十四
TEL (667) 5311

リサイクルプラザ宮の沢
西区宮の沢一
TEL (671) 4153